



支援センターだより

〒780-0972 高知市中万々78 番地
高知県立高知ろう学校 相談支援部
電話 088-823-1640 FAX 088-823-1752
E-mail : ro-s@kochinet.ed.jp

令和4年度
第2号

これまでになく早く梅雨が明け、真夏日が続いています。体育の後や遊んだ後、子どもたちの頭は汗びっしょりになりますね。汗は“水分”と“塩分”が含まれており、“錆”の原因にもなります。精密機械である補聴器や人工内耳を長持ちさせるために、毎日のお手入れをしっかりと行いましょう。周りの大人が気を付けることはもちろんですが、子どもたちの年齢や発達段階に合わせて、自分で必要なお手入れができるようにしたいですね。

補聴器・人工内耳 夏の注意点

汗をかいたら・雨に濡れたら

- ◆タオルで頭をよく拭きます。
- ◆補聴器、人工内耳をやわらかい布で拭きます。
- ◆補聴器、人工内耳を乾燥ケースに入れます。（電池は外して入れましょう。）

プール・水遊びをするとき

- ◆補聴器、人工内耳を外して乾燥ケースにしまい、決まった保管場所に置きます。
- ◆人工内耳メーカーから装用したまま水に入れる防水カバーも販売されています。
- ◆水に入った後は、耳や耳の中、髪の毛等をよく拭いて乾かしてから補聴器をつけましょう。

汗カバー

- ◆カバーが汗を吸い取り、補聴器内部に汗が浸入するのを防ぎます。
- ◆汗で濡れたカバーをそのまま付けているとかえって逆効果です。予備を準備して、濡れたら交換するようにします。
- ◆補聴器販売店や人工内耳メーカーで機種に合ったものを購入できます。

乾燥ケース

- ◆汗をかいたとき、就寝時や長時間補聴器や人工内耳を使用しないときは乾燥ケースに保管しましょう。
- ◆空気電池は乾燥させると寿命が短くなるため、乾燥ケースには入れないようにします。
- ◆乾燥ケース内の乾燥剤は定期的に交換してください。

研修案内（幼・保・小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校職員等対象）

・四国教育オーディオロジー研究協議会研修会

【きこえの合理的配慮～学校で何が求められているのか～】

講師 国際医療福祉大学耳鼻咽喉科 中川雅文先生

8月7日（日）11:00～12:00 Web 視聴（問い合わせ先：本校 濱田）

・令和4年度特別支援教育講座（聴覚障害教育講座）

【言葉の力が育ち、主体性を高める授業と環境づくり】

講師：東北福祉大学教育学部 教授 大西 孝志先生

8月29日（金）13:30～16:00 場所：高知ろう学校（問い合わせ先：大代）

・教育課程研究集会（聴覚障害部門）

9月30日（金）13:00～17:00 場所：高知ろう学校（問い合わせ先：大代）

